

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2014-162336(P2014-162336A)

【公開日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2013-34506(P2013-34506)

【国際特許分類】

B 6 1 D 17/04 (2006.01)

B 6 1 D 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 1 D 17/04

B 6 1 D 17/00

C

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月10日(2016.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構体の床部分、側部分及び屋根部分の少なくとも1つを車両長手方向において複数に分割してなる複数のモジュールと、

前記複数のモジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、

前記溝部の内部空間に挿入された結合座ユニットと、を備え、

前記長尺部材は、前記複数のモジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた溝部を有し、

前記溝部の車両長手方向に沿って延びた長手開口部の幅は、車両長手方向に直交する方向において、前記溝部の内部空間の幅及び前記結合座ユニットの幅よりも小さく、

前記複数のモジュールが前記長手開口部を通して前記結合座ユニットに固定される、鉄道車両構体。

【請求項2】

前記結合座ユニットは、前記モジュールがそれぞれ固定される複数の結合座と、前記複数の結合座を互いに回動可能に連結する結合リンクとを有し、

前記結合リンクは、車両長手方向において前記モジュールの車両長手方向の端部に対応する位置に配置されている、請求項1に記載の鉄道車両構体。

【請求項3】

前記側部分が、前記複数のモジュールにより構成され、側梁及び軒桁が、前記長尺部材により構成され、

前記軒桁の前記溝部に配置された前記結合リンクは、前記側梁の前記溝部に配置された前記結合リンクよりも車両長手方向に長い、請求項2に記載の鉄道車両構体。

【請求項4】

前記溝部の車両長手方向の両端には、車両長手方向に向けて開口する端開口部が形成され、

前記端開口部には、蓋部材が取り付けられている、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の鉄道車両構体。

【請求項5】

前記複数のモジュールは、前記結合座ユニットに対して締結具により締結され、前記溝部の前記長手開口部と反対側の面には、前記締結具のうち前記結合座ユニットから突出する部分に対向する凹部が形成されている、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の鉄道車両構体。

【請求項6】

構体の床部分、側部分及び屋根部分の少なくとも1つを車両長手方向において複数に分割してなる複数のモジュールと、

前記複数のモジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、を備え、

前記長尺部材は、前記複数のモジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた溝部を有し、

前記長尺部材は、機器を取り付けるために車両長手方向に沿って延びる別の溝部を有している、鉄道車両構体。

【請求項7】

構体の側部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の側モジュールと、

前記複数の側モジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、を備え、

前記長尺部材は、その車幅方向外方の側面において、前記複数の側モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた外側溝部を有している、鉄道車両構体。

【請求項8】

前記構体の床部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の床モジュールを更に備え、

前記長尺部材は、側梁であり、

前記複数の床モジュールは、前記側梁に取り付けられ、

前記側梁は、その車幅方向内方の側面において、前記複数の床モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた内側溝部を有している、請求項7に記載の鉄道車両構体。

【請求項9】

前記側梁は、その底面において、前記床モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた底側溝部を更に有している、請求項8に記載の鉄道車両構体。

【請求項10】

前記構体の屋根部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の屋根モジュールを更に備え、

前記長尺部材は、軒桁であり、

前記複数の屋根モジュールは、前記軒桁に取り付けられ、

前記軒桁は、その車幅方向内方の側面において、前記複数の屋根モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた内側溝部を有している、請求項7に記載の鉄道車両構体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

側モジュール21，22を固定するための第3及び第4結合座ユニット53，54は、側モジュール21，22がそれぞれ固定される複数の結合座81と、複数の結合座81を互いに連結する結合リンク82A，82Bとを有している。結合座81は、結合リンク82A，82Bに対して結合ピン84によって回動可能に連結されている。結合座81は、短冊状の長尺板であり、車両長手方向の直線状に一列に並んだ複数の締結孔81aが形成されている。結合リンク82A，82Bは、車両長手方向において側モジュール21，22（図1参照）の車両長手方向の端部に対応する位置に配置されている。即ち、結合リンク82A，82Bは、車両長手方向に隣接する側モジュール21，22の取付部21c，

2 1 e , 2 2 c , 2 2 e の間の領域に対応して配置されている。